

木村常信教授略歴

明治三十四年九月四日

京都府京都市に出生

大正四年三月

京都市下京区新道尋常小学校卒業

大正八年三月

京都府立京都第二中学校卒業

同 十二年三月

第三高等学校文科丙類卒業

同 十五年三月

京都帝国大学法学部法律学科卒業

同 年四月

京都帝国大学大学院（法学研究科）進学

同 年十月十八日

京城法学専門学校教員を嘱託

昭和二年九月十五日

朝鮮總督府京城法学専門学校教授

同 八年十一月八日

民法研究のため独・仏・英・米へ在留を命ず

同 十年八月三十一日

歸任

同 十九年七月二十九日

朝鮮總督府京城法学専門学校長事務取扱ヲ命ス

同 二十一年五月三十一日

昭和二十一年勅令二八七号ニ依リ自然退官

同 二十二年四月十五日

徳島県勝浦郡横瀬中学校長

同 二十三年四月十日

大分経済専門学校教授

同 二十四年六月一日

大分大学図書館長

同 年七月三十一日

大分大学教授

同 二十五年三月三十一日

京都大学教授（吉田分校勤務）

同 三十八年四月一日

京都大学教養部に配置換

同 四十年四月一日

鹿児島大学教授、法文学部に配置換（文理学部併任）

同 四十二年三月三十一日

停年により退官

著作目録

〔著書〕

憲法講義案 昭和二十五年 有 信 堂

法学―私権論 昭和二十六年 有 信 堂

新民事責任論 昭和二十八年 有 信 堂

法と権利 昭和二十八年 有 信 堂

法学新論 昭和二十九年 有 信 堂

法学の根本問題 昭和三十年 有 信 堂

法学序説 昭和三十三年 有 信 堂

法学概論 昭和三十四年 ナカニシヤ書店

新訂法学概論 昭和三十六年 ナカニシヤ書店

法学の大家たち 昭和三十七年 ナカニシヤ書店

多元的法律観 昭和三十八年 ナカニシヤ書店

法の一般理論 昭和三十九年 ナカニシヤ書店

〔翻訳〕

デュギ―「公法変遷論」 昭和五年 大 鐙 閣

〔論文〕

復代理の法律上の性質

朝鮮司法協会雑誌一六卷五号 昭和十二年

第三者の受益の意思表示 同一六卷六号 昭和十二年

表見代理否認論 同一六卷九号 昭和十二年

相続分取戻権 同一六卷一二号 昭和十二年

立木及未分離の果実の取引と明認方法

同一七卷五号 昭和十三年

相対的無効 同一八卷八号 昭和十四年

質権本権論 同一九卷六号 昭和十五年

無因債務による更改と原因の変更、種類債務と瑕疵担保

同一九卷九号 昭和十五年

現実の引渡と簡易の引渡、免責的債務引受

同一二卷 昭和十七年

弁済の性質 同一二卷 昭和十八年

表見代理否認論 大分経専論集三卷一二号

公共の福祉と基本的人権 京大教養部「人文」五集

昭和三十四年

国家法人論の二潮流 同八集 昭和三十七年

法の効力の根拠

同十集

昭和三十九年

公私法人の不法行為責任

同十一集

昭和四十年

天皇の憲法上の地位

比較法研究二十一卷

昭和三十五年

国民主権論

鹿大「法学論集」一号

昭和四十年

外部的授権と代理権の濫用

鹿大「法学論集」二号

昭和四十一年